

交差点通行時の事故を未然に防ぐための注意点

追突事故、右折時の事故、左折時の事故を未然に防ぐための注意点をまとめました。ここで挙げている注意点を常に意識していただき、事故のない安全な運転を心がけましょう。

1 交差点付近走行時



ポイント①：万が一に対応できる「速度」と「車間距離」

▶万が一、前車の発見や対応が遅れても追突事故を回避できるよう、安全な速度と車間距離を常に意識し、実践しましょう。

ポイント②：自分ではなく「前車に合わせる」

▶自分は「行ける」「止まれる」と思っても、前のドライバーとの意識がずれると追突の危険性が増大します。常に前車に合わせる意識を持ちましょう。

ポイント③：しっかりと「前車を確認」

▶追突原因の多くは、「わき見」や「ぼんやり」など、「しっかり見ていない」ことが原因です。しっかりと前の車の動きを確認して衝突しないよう走行しましょう。

2 交差点右折時



ポイント①：「対向車」が優先

▶交差点右折時は、対向車が優先です。このことを忘れず、常に対向車に注意を払いましょう。

ポイント②：「二台目」に注意

▶対向車が譲ってくれた時に、その陰から進行してきた自動車や二輪車と衝突するケースが多いため、「二台目」に注意しましょう。

ポイント③：対向車に続く「横断歩道」

▶右折時には、対向車をクリアしても、その次に横断歩道という第二関門があります。横断歩道上の歩行者や自転車に常に注意を払いましょう。

3 交差点左折時



ポイント①：死角を補う「巻き込み確認」

▶自動車には左右ともに死角があります。このことを意識し、左折時には必ず左後方を振り返って「巻き込み確認」をしましょう。

ポイント②：急に止まる「先行左折車」

▶左折時には横断歩道上の歩行者や自転車が優先なため、先行左折車が急に停止することがあるということを常に意識しましょう。

ポイント③：左右から飛んでくる「自転車」

▶横断歩道上では自転車が急に横断してくることがあるため、歩行者だけでなく、特に自転車に注意しましょう。

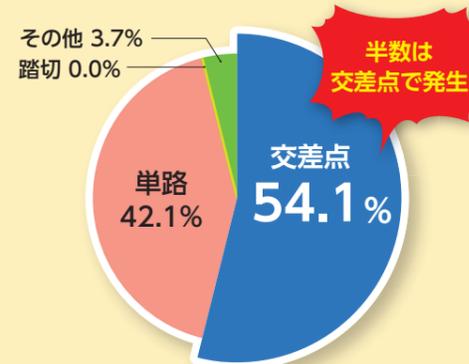


事故「多発」交差点

(一社)日本損害保険協会では、47都道府県別に人身事故件数が多い交差点5ヶ所を紹介する「全国事故多発交差点マップ」を公表しています。これまで本マップに掲載されたデータを分析した結果、明らかとなった事故多発交差点で多く発生する事故形態と注意すべきポイントをお知らせします。これらのポイントを常に意識し、安全な運転を実践しましょう。

人身事故の約半数は交差点で発生

平成22～26年までの5年間に全国で発生した人身事故の約半数は交差点で発生しています。



*データ：交通統計 (H22～26年版) ((公財) 交通事故総合分析センター)

事故多発交差点*でよく起こる3つの事故形態

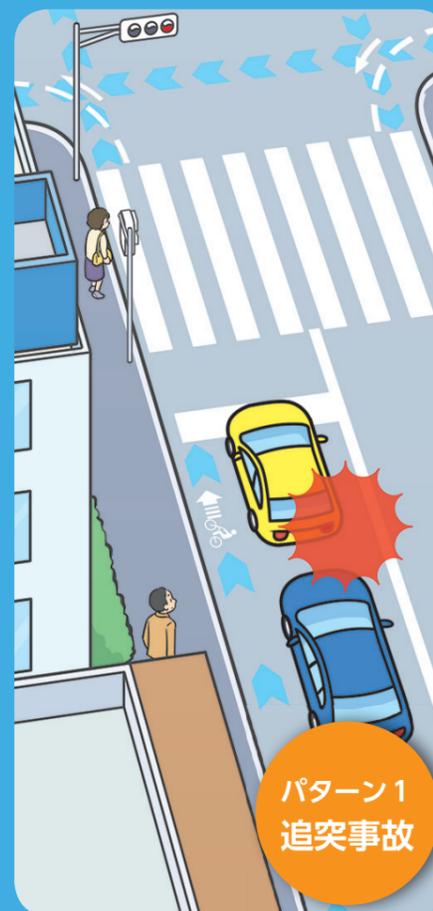
事故多発交差点で発生する人身事故の約8割は「追突」「右折時」「左折時」が占めています。

パターン1 追突事故 (41%)
交差点手前の沿道施設が多く立地する場所や信号交差点手前で前車に衝突!

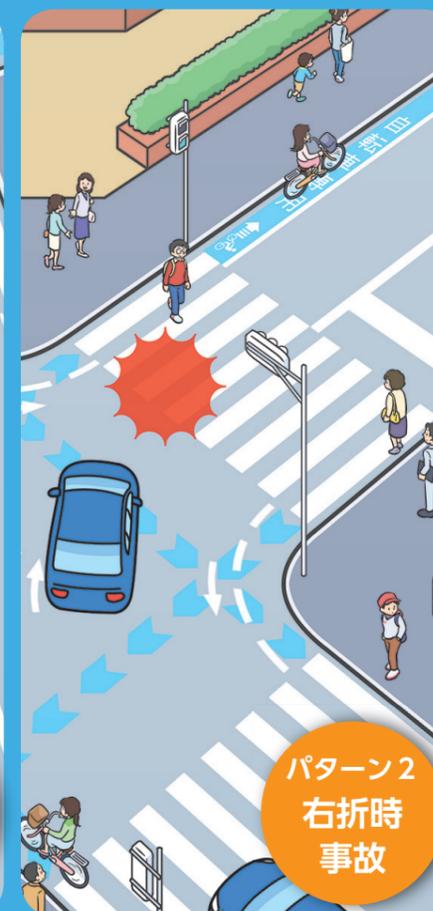
パターン2 右折時事故 (25%)
交差点内で対向車とまたは右折先の横断歩道付近で自転車・歩行者と衝突!

パターン3 左折時事故 (11%)
交差点内で左後方からの二輪車・自転車とまたは左折先の横断歩道付近で自転車・歩行者と衝突!

*データ：(一社)日本損害保険協会が平成20年から26年までに公表した事故多発交差点1,236箇所の分析結果による



パターン1
追突事故



パターン2
右折時
事故

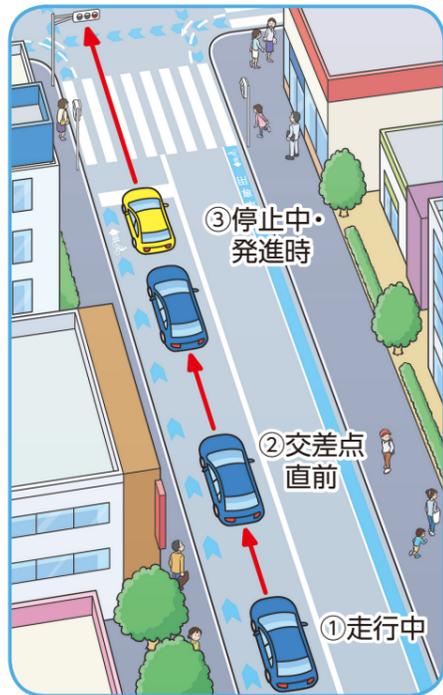


パターン3
左折時
事故

あなたはいくつ当てはまりますか？ 交差点通行時の安全度をチェック！

ドライバーの皆さんが交差点付近通行時、交差点右折時、交差点左折時に注意すべきポイントをご自身で振り返っていただけるチェックリストを作りました。
あなたの日常の運転行動を振り返り、チェックしてみましょう。

A 交差点付近走行時（追突事故回避のためのチェックポイント）



①走行中

- 路外の風景や車内、携帯電話等に気を取られず、常に前方に注意している。
- 考え事などで漫然と運転することのないよう意識している。
- 前の車の急な動きやブレーキに対応できるよう注意している。
- 常に安全な運転速度や車間距離を意識している。
- 相手が譲ってくれても、自分で安全を確認し、走行している。

②交差点直前

- 信号の変わり目に無理な走行をしないようにしている。
- 前車との距離を確認しながらブレーキを操作している。

③停止中・発進時

- 他車の発進につられず、信号や前車の状況を自分で確認し、発進している。

チェック数： 8 個

C 交差点左折時（左折時事故回避のためのチェックポイント）



①左折前

- 沿道の店舗などに気を取られず集中して運転している。
- 信号の変わり目に無理な左折をしないようにしている。

②左折直前

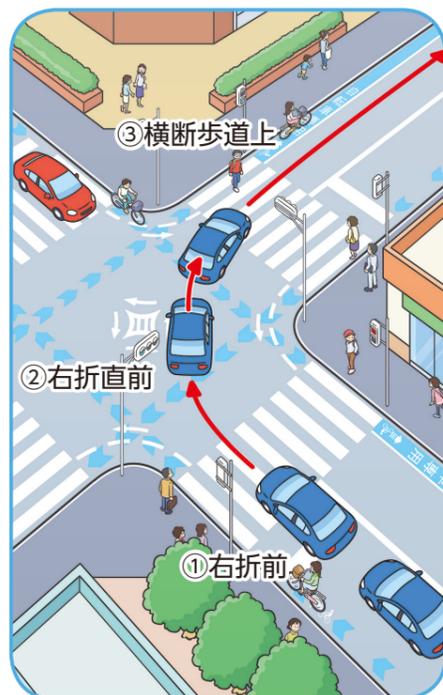
- 先行する左折車の急停止に対応できるよう注意している。
- 前車に続いて左折する際でも、横断歩道上の自転車や歩行者は自分で確認している。
- 左折前には、必ず後方左側からのバイクや自転車の巻き込み確認をしている。
- 急なバイクや自転車、歩行者に対応できるよう、左折時には十分減速するようにしている。
- 左折時には自転車や走行車を巻き込まないよう内輪差を意識して走行している。

③横断歩道上

- 横断歩道上を左右から進行してくる自転車や歩行者に注意している。

チェック数： 8 個

B 交差点右折時（右折時事故回避のためのチェックポイント）



①右折前

- 右折前には対向車をしっかり確認するようにしている。
- 信号の変わり目に無理な右折をしないようにしている。

②右折直前

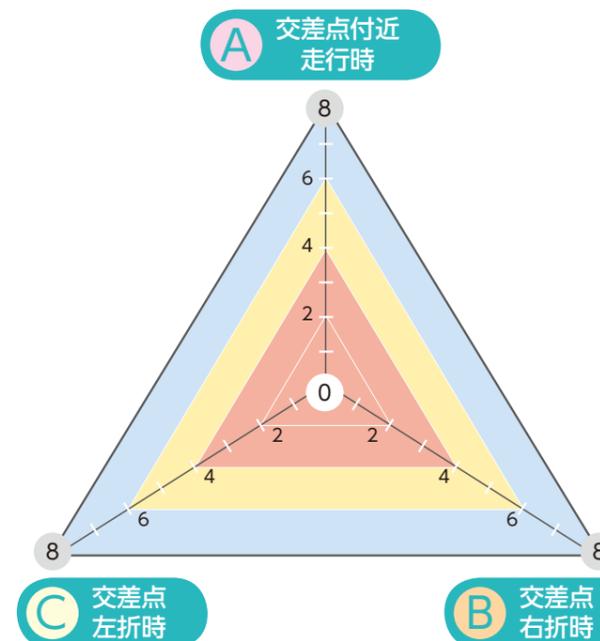
- 対向車の陰から車両やバイクが進行するかもしれないと予測している。
- 右折車線が複数ある場合、対向車だけでなく並びの右折車にも注意している。
- 対向車を発見したら、その動きや距離を常に確認している。
- 右折先の横断歩行者だけでなく、周囲の状況を広い視野で確認している。
- 対向車や横断歩道上の自転車・歩行者と接触しないよう、右折時には十分減速するようにしている。

③横断歩道上

- 対向車だけでなく、横断歩道を通行する自転車や歩行者を意識的に確認している。

チェック数： 8 個

診断結果 各項目のチェック個数を下記レーダーチャートに記入してみましょう。



チャートの記入方法

事故の多い3つの形態ごとのチェック結果（点数）をレーダーチャートにプロットし、あなたの日常の運転行動を振り返ってみましょう。

● 模範ドライバーゾーン

あなたは他のドライバーの模範となる優良ドライバーです。引き続き安全運転を実践しましょう。

● 標準ドライバーゾーン

あなたは標準的なドライバーです。今回チェックがつかなかったポイントを重点的に注意して安全運転を実践しましょう。

● 要注意ドライバーゾーン

あなたの運転行動には注意が必要です。各チェックポイントを再度確認し、安全運転を心がけましょう。

※判定基準

● : 7・8個 ● : 5・6個 ● : 4個以下

交差点での交通事故を未然に防ぐための注意点を次ページにまとめました。➡